



あい 愛 逢

第
39
号

特定非営利活動法人 愛逢

尼崎市小中島1-20-21

電話 06-6493-1424

FAX 06-6493-1443

発行責任者 長谷川 達雄

発行日 2011年9月3日

頑張れ東日本！！
よってたかって！！

夏まつり in 小中島公園！！



愛逢はカキ氷など出展

暑い中、7月23日（土）小中島公園で阪神医療生協主催の恒例の夏まつりが行われました。愛逢では、淡路産の野菜つめ放題のお店を出展しました。お年寄りの方、愛逢を利用して下さっている利用者様、主婦の方、たくさんの方に来て頂きお買上げいただきました。中には、「お母さんに」と小学生くらいの子供が買いに来られたりもしました。ピーマン・ナスビは、30分程であっという間にじゃがいも、たまねぎもたくさんの方に買って頂き1時間程で、全て完売しました。暑い中、皆でがんばりました。 <古堅 麻里子>

先日はボランティアの一環として夏まつりのカキ氷のお手伝いをしました。

浴衣を着せてもらった子供達が嬉しそうに買いに来てくれました。あっという間に売り切れ楽しかったです。

私は、今まで勤めていたせいもあり、地域の係りにはまったく無関心でした。今回このようなお手伝いをさせて頂き夏まつりが無事に楽しく賑やかに出来るのは、ボランティアの皆さんの努力なくしては出来ないと感じました。

これからも微力ですが、地域の役に立ちたいと思いました。

<小田 恵子>



盆踊りの風景

9月から「成年後見」の無料相談を開始します

9月から、毎週火曜日午後1時から3時30分にかけて、愛逢事務所2階にて相続や遺言、「成年後見」についての無料相談を開始します。

相談には、司法書士でもある長谷川達雄理事長があたります。また、出前相談にも出向きます。どなたでも、お気軽にご相談においで下さい。

お問い合わせは、☎6493-1424 愛逢事務所まで。

「愛逢の家」加藤豊長さん

50名の聴衆を前に堂々と戦争体験を語る



戦争体験を語る加藤豊長さん

8月7日阪神医療生協9条の会主催の「戦争体験を聞く会」で満州鉄道社員として満州

の地で敗戦を迎えられた^{とよ}“豊さ”の話をお聞きすることになり、快く引き受けて頂きました。

引き受けてから毎日、古い記憶を呼び戻す為に、資料や本などを調べ、準備万端です。当時、18歳で満鉄の試験に合格し、希望に燃えて満州の地に渡ったが現状は厳しく、その中で生きがいを持って生活をされたこと、敗戦と同時に腸チフスに罹り十分な医療環境のない中、無事に生還されたことを記憶に基づく手書きの地図を片手に明瞭に話されました。その頃のお話をもっと聞きたい方は「愛逢の家」に遊びに来てください。

＜兼行 栄子＞

ヒロシマ平和行動に参加して

皆さまが心を込め折ってくださった千羽鶴を手をいただいたカンパで広島に行かせていただきました。

一日目は大久野島の見学でした。今はきれいな海、青い空、うさぎが遊びゆったりとした国民休暇村ですが、かつて毒ガス島であったのは信じがたいことです。昭和の初め国際法上禁止された毒ガスを製造し、日中戦争で使用したことは国家機密でした。そのため大久野島は地図から消され、歴史にも記載されませんでした。働いていた人にも国家機密を強要し、監視下に置き漏らした人は処刑するという残酷な戦争の裏側を垣間見ることができました。戦争とは被害者にもなり、また加害者にもなるということを理解しました。アメリカに向けて紙の気球に毒ガスを付けて飛ばした事実も信じられませんでした。



ヒロシマに千羽鶴を捧げる大森さん

二日目は平和公園内の原爆の子の像に千羽鶴を捧げ、大役を果たすことができました。韓国の慰霊祭を横目で見ながら歩くと、慰霊碑の横では翌日の慰霊祭の準備が着々と進んでいました。これがテレビで観る光景なのだと思います。資料館へ入りました。館内には戦争の恐ろしさを彷彿させる被爆者の遺品、惨状を示す写真や資料が展示されていました。中でもたいして大きくない爆弾が展示されており、これが広島を瞬時に全滅させたのかと思うとそら恐ろしくなりました。平和である事の幸せを実感した二日間でした。このような貴重な体験をさせていただいた事に感謝いたします。

＜大森 視也子＞



大久野島にて



原爆ドームにて

☆8月10日 ヘルパー勉強会をする☆

愛逢の理事、是澤さんを講師に依頼して、ヘルパー18名、愛逢の家のヘルパー3名、理事長も参加して、記録の書き方、「どうして記録を書くのですか」を勉強しました。初めに講師から話しをしてもらい、その後4人1

グループに分かれて、事例検討をして、それを記録にする。それを1グループごと発表するという型にして、全員参加できるような勉強会ができてとてもよかったです。これから記録を読むのも楽しみです。



ヘルパー勉強会

＜中田 佳代子＞

8月10日のミーティングでは、報告書の書き方について講師の先生が来て勉強しました。グループに別れて話し合いました。事例を見てどのように記録したらきちんと伝わるのか話し合い意見も聞け、勉強になりました。

この勉強をするまでは記録をただ書いているという感じでした。でもこの勉強をして利用者さんに関心を持ってチームで支えていく為に記録はとても大切な事だと思いました。

＜成尾 幸恵＞

★おでかけ隊 11月下旬予定しています★

第6回 阪神医療生協 平和行進
日時 2011年9月18日(日) 10時～
集合場所 JR尼崎駅北口 阪急オアシス前
コース: 阪急オアシス前～阪神尼崎駅前中央公園



第8回水辺まつり

日時 9月24日(土)
時間 9:00～15:00
場所 藻川 中園橋付近
(雨天の場合は翌日に順延)

～猪名川・藻川にきれいな流れをとりもどそう～

ミッション(社会的使命)

私たちは多様な生き方が尊重され、
誰もが安心して暮らせる地域を作る為に、
仲間と支えあい(愛)、つながり(逢)っていきます。

寄付金をいただきました

— 敬称略 —

(期間：平成23年4月1日～平成23年8月31日)

橋平浩子 米田昌子 石井淑子 是澤宏美
尾田紀子 東田敦子 高見久江 香川末子 巽エチ子
松村克彦 横山良幸 長利睦雄 岡本峰子 三輪恭子 伊澤知法
長谷川達雄 徳岡富志代 小西加保留 村上紀美子 五反田千代
匿名希望 1名

当会の趣旨にご賛同頂き、21名のご協力頂きましたことを厚くお礼申し上げます。

知ってますか？

第4回目 愛逢の理事・理事長の仕事ってなに？

NPO法人愛逢の最高決議機関（国に例えると国会に当ります）は、年1回開催される総会です。

その総会で決定された1年間の活動と事業の方針を、責任を持って点検し実行に移すのが理事（会）の役割です。

理事会は、年6回開催され、11名の理事で構成されています。その責任者＝「扇の要」として、NPO法人愛逢の活動と事業を日々指揮する役割を担うのが理事長です。理事会が内閣とすれば、理事長は内閣総理大臣（首相）に当ります。

ちなみに、現・長谷川達雄理事長は、NPO法人愛逢二代目の理事長です。

ホ ッ ト 待 夢



東北大震災の被災地気仙沼市の方々にTシャツを送ろうと私たちは計画、グループの会員をはじめ地域の多くの方から賛同いただきました。いざ、被災地へ送ろうとした7月1日、物資は余っているとの報道を聞き、気仙沼災害ボランティアセンターに電話すると「物資は受け付けていません」との返事に一同意気消沈。

届けてくださった方々の思いがここに来てフイになってしまうのか！窮地の中で思い出したのが気仙沼市に行った時、お会いした市議員さんです。

早速、名刺を頼りに電話すると事はトントンと運び、Tシャツは間髪おかず避難所に届き、皆さんの手に渡りました。人のつながりと名刺の効用を思い知った私です。

<春 香>